

廃水浄化・CO₂削減・ISO取得...

「エコ対策」融資に力

地銀環境意識高まりで

地方銀行が環境対策に取り組む企業向け融資を強化している。廃水浄化装置などの設備資金にとどまらず、二酸化炭素(CO₂)の排出、吸収量を企業の評価基準に加える地銀もある。低調な企業の資金需要を刺激するねらいもある。

(伊藤裕香子)



熊本市中心部から車で約40分。熊本県西原村のマルキン食品(熊本市)の豆腐新工場の一角に6

月、廃水浄化施設が完成した。大豆や機械を洗った水を金魚がすめる水質に戻し、川に流している。

建設資金の1億8千万円は、肥後銀行が04年10月に始めた「クリーンくまもとビジネスローン」を活用した。金利は通常の融資より0.2割低い1%台前半だった。熊本県は水俣病の経験もあり、工場排水には敏感。マルキン食品では、環境融資を豆腐工場の廃水浄化施設の建設にあてた。熊本県西原村で

感な土地柄。融資実績はまだ1件だが、肥後銀行は「このローンをきっかけに顧客が環境投資への関心を高めれば、次の融資につながる」(総合企画部)と期待する。

環境に絡むもう一つの有力な融資先は、環境管理の国際規格ISOの認証取得をめざす企業だ。取得にはコンサルタント料や人件費などを含めれば数百万円以上かかるとされ、中小企業にとって負担が重い。徳島銀行など多くの地銀が扱っている。ISO取得を審査項目

金融機関の主な環境配慮型融資の概要と実績

- 滋賀銀行 エコ・クリーン資金 水質汚濁防止の「みずすましプラン」など5種。98年4月以降、553社約74億円。
- 熊本ファミリー銀行 エコサポート資金 リサイクル施設などが対象。04年9月以降、30社約9億円。
- 常陽銀行(茨城県) 常陽エコ・セレクトローン 大気汚染防止の「環境クリーンプラン」など5種。05年7月以降、2社1700万円。
- 八十二銀行(長野県) 信州エコ・ボンド「山紫水明」環境ISO認証取得企業の私募債引受手数料や保証料を優遇。
- 日本政策投資銀行 環境配慮型経営促進事業 環境経営度を約120項目で点数評価。04年以降、38社約550億円。鹿児島市の太陽運輸倉庫には天然ガスの購入資金を融資。
- 商工中金 環境配慮型経営支援貸付 東京都の地球温暖化対策計画書でA評価以上の企業を、05年7月に追加。

に加える地銀もある。静岡銀行は4月、「エコサポート・ビジネスローン」の審査に、ISOなど第三者の認証を加えた。2月の京都議定書の発効で「環境重視の経営が企業価値を高める時代」という判断からだ。

環境省が02年3月にまとめた金融業の環境配慮行動の報告書では、環境関連の企業向け融資の実

この組織は04年に「環境コベナンツ(特約)付融資」を発案。企業が2年後にCO₂排出量が省エネの目標を達成すれば、金利を引き下げる仕組みだ。環境銀行の損益計算書も四半期ごとに公表。この4-6月期は6700万円の経常黒字を計上した。

肥後銀行は昨年、森林をもつ企業や個人への融資に独自の審査基準を設けた。CO₂吸収量を土地評価額に反映させるようにした。

ただ、環境対策は企業の収益拡大に直結しにくい。どのような見込みが有効なのかを見いだせない地銀もある。それでも、日本総合研究所の足達英一郎氏は「社会全体の環境意識が高まるなか、不良債権処理にめどをつけた地銀から長期的な環境戦略を描くようになってきた」と分析している。